

第6回歯科技工士の養成・確保に関する検討会	参考資料 1
平成31年3月4日	
第5回歯科技工士の養成・確保に関する検討会	参考資料 1-1
平成31年1月17日	
第4回歯科技工士の養成・確保に関する検討会	資料 3-1
平成30年11月19日	

第4回歯科技工士の養成・ 確保に関する検討会

石原歯研

代表：石原 義博





CASTMATIC-S



所在地 静岡県駿東郡長泉町

代表 石原 義博 1961年(昭和36年)57歳

設立 1991年(平成3年)4月

スタッフ 歯科技工士1名 事務員1名

業務内容 クラウン・ブリッジ・セラミック等歯冠修復が主

役職 (公社)静岡県歯科技工士会会長

歯科技工所の概況

院内技工のような融通が利く業務体制

- ・自ら集配を行うことで歯科医師から直接指示を聞くことが出来る。
- ・取引先が近いいため診療中の立ち合いが可能。
- ・すべての製作工程を自ら行う事で、責任感ややりがいを持てる。

近年の傾向

業務内容

- 貴金属価格の高騰や審美的な関心の高まりから、金属による修復が減りレジンやセラミックによる修復が増加している。
- ジルコニア等オールセラミック修復物が加わり、従来からの陶材焼付鑄造冠が減少傾向である。

業務改善のための取り組み

- 現在の所、業務の改善を必要とするほど悪化していないが、高額な設備を導入することは困難なためメーカーとの連携を検討している。
- 歯科技工所間の連携は法令上し難いため考えていない。
- 業務上競合しない歯科技工所を歯科医療機関に紹介することはある。
- 受けた仕事に対し懸命に取り組んでいると、こだわりや思いが強く長時間かかることもあるが、自身のやり方次第で自由な時間が持てる。

地域組織における働き方の工夫

- ・(公社)静岡県歯科技工士会では、人手不足への対応として無料職業紹介事業を実施している。育児や定年で退職した歯科技工士にパートタイムも選択肢とした雇用を斡旋している。
- ・また、県条例により全ての産業廃棄物排出事業所に廃棄物処理場の実地確認が義務付けられているが、組織で代行することにより歯科技工所業務の一助となっている。

公益社団法人 静岡県歯科技工士会

歯科技工所運営対策部

2017 産業廃棄物処分場実地確認チェックシート (5年間保存)

実地確認の実施年月日	平成29年 10月31日	
実地確認先	事業者名	丸徳商事有限会社
	事業場名(施設名)及び住所	丸徳商事有限会社 丸徳商事有限会社 静岡県清水区 丸徳大内沢 1819-1
	対応者(役職及び氏名)	所長 望月 一頼
実地確認を行った者	長島幹弘 平田曜	

実地確認の結果の評価 (委託契約の適否等)	適正である 公益社団法人 静岡県歯科技工士会 会長 石原 義博
--------------------------	---

A 共通項目

1 処理業者の許可状況	評価
(1) 委託する処理(運搬又は中間処理若しくは最終処分)の許可を得ているか。	○
(2) 処理を委託する産業廃棄物が許可品目に含まれているか。	○
(3) 処理を委託する期間が許可期限内か。	○
2 書面の保存状況(委託契約後の実地確認の場合)	
(1) 帳簿 [※] について	
①整備されているか。	○
②委託した処理は適切に記載されているか。	○
※ 廃棄物処理法により、産業廃棄物処理業者が、その産業廃棄物の処理について記載し、保存するように義務付けられています。廃棄物処理法施行規則第10条の8及び第10条の21に、帳簿の記載事項が規定されています。	○
(2) マニフェストは適切に記載され、保管されているか(実地確認した事業場に保管されていない場合は、保管されている場所はどこか)。	○
(3) 委託契約書は適切に保管されているか(実地確認した事業場に保管されていない場合は、保管されている場所はどこか)。	自社

会印の無きもの無効 複写厳禁

(1)

2017 産業廃棄物処分場実地確認

丸徳事業所



産業廃棄物処理、処分場の許可表示



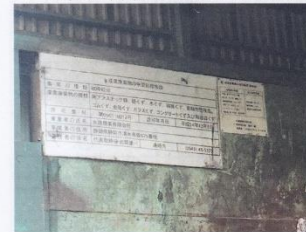
屋内産廃焼却施設



分離焼却施設



産廃物中間処理施設の許可表示



丸徳事業所所長代理の萩原さんと



CAD/CAM等近年の歯科技工技術の 活用状況

- 取引先歯科医療機関内にCAD/CAMシステムが導入されている為、依頼されることはない。
- 一人歯科技工所の場合、出来ないものは出来ないで済んでしまう。

検討会に期待する事

- ・歯科技工士を取り巻く環境は、今まさに変革期を迎えている。就業歯科技工士の高齢化や歯科技工士を目指す若者の減少による労働力不足が叫ばれる中、デジタル技工の著しい進歩は従来の技工作業を大きく変えようとしている。デジタルテクノロジーの波に翻弄されないよう、未来を見据えた教育を推進していただきたい。
- ・従来の基本的歯科技工技術の習得に加えて、デジタル技工にも対応した新たな教育カリキュラムを追加することを考えると2年制では到底足りるはずがないことは誰にでも分かる。



ご清聴ありがとうございました！